がん化学療法指示書

登録番号　269
作成日　2021/1/13

レジメン名	CBDCA+PTX+ﾆﾎﾞﾙﾌﾞﾏﾌﾞ+ｲﾋﾟﾘﾑﾏﾌﾞ療法
診療科・対象疾患	(呼)切除不能な進行・再発の非小細胞扁平上皮肺癌
投与間隔	6週毎
投与サイクル数	1コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オプジーボ	ニボルマブ	360mg/body	Day1, 22
ヤーボイ	イピリムマブ	1mg/kg	Day1
パクリタキセル	パクリタキセル	200mg/㎡	Day1, 22
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC 5(MAX6)	Day1, 22

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	・・・	・・・	day22	・・・	・・・	day42
Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp2	癌	**オプジーボ(ニボルマブ)**	360mg	30分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする										
Rp3		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●						
Rp4	癌	**ヤーボイ(イピリムマブ)**	1mg/kg	30分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする										
Rp5		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●						
					※開始時にレスタミンコーワ内服							
Rp6		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●						
		デキサート(6.6mg)	1瓶									
		ファモチジン(20mg)	1本									
Rp7	癌	**パクリタキセル**	200mg/㎡	180分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	500mL									
Rp8	癌	**カルボプラチン**	AUC 5(MAX6)	60分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	250mL									

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	・・・	・・・	day22	・・・	・・・	day42
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用				●			
Rp2	癌	**オプジーボ(ニボルマブ)**	360mg	30分	点滴静注メイン				●			
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする										
Rp3		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用				●			
					※開始時にレスタミンコーワ内服							
Rp4		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン				●			
		デキサート(6.6mg)	1瓶									
		ファモチジン(20mg)	1本									
Rp5	癌	**パクリタキセル**	200mg/㎡	180分	点滴静注メイン				●			
		生理食塩液	500mL									
Rp6	癌	**カルボプラチン**	AUC 5(MAX6)	60分	点滴静注メイン				●			
		生理食塩液	250mL									

内服

その他必要薬剤	**※レスタミンコーワ(10mg)5錠をday1はRp5開始時、day22はRp3開始時に内服** ・アプレピタント(125mg):1cap分1　ルートキープ時に内服(day1,22) ・アプレピタント(80mg):1cap分1　朝食後に内服(day2,3、23,24)
総投与時間	Day1:6時間20分、Day22:5時間20分
血管外漏出リスク	パクリタキセル:起壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 オプジーボ(ニボルマブ):非壊死性抗がん剤 ヤーボイ(イピリムマブ):非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	パクリタキセルはアルコール過敏の有無を確認する オプジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)、パクリタキセルはフィルター付きルート要 オプジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)は経過観察のため投与30分あける
備考欄	day1オーダは「CBDCA+PTX+ﾆﾎﾞﾙﾌﾞﾏﾌﾞ+ｲﾋﾟﾘﾑﾏﾌﾞ療法　day1」、day22オーダは「CBDCA+PTX+ﾆﾎﾞﾙﾌﾞﾏﾌﾞ+ｲﾋﾟﾘﾑﾏﾌﾞ療法　day22」のマスタを使用する。 Infusion Reaction Grade2の場合、オプジーボ(ニボルマブ)あるいはヤーボイ(イピリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg　5錠 アセトアミノフェン300mg　2錠